

十日町地域 稲作生育速報（令和8年7月8日）

十日町農業普及指導センター・十日町地域農業振興協議会魚沼米振興部会

- 早生・中生品種を中心に、出穂期が平年より早まる見込みです。
- コシヒカリの草丈は「やや短」、葉色は「並」です。倒伏の恐れが少ないほ場では、1回目穂肥を適期に必ず施用しましょう。
- 出穂期予想を参考に、斑点米カメムシ類の防除計画を策定し、適期に薬剤防除しましょう。

【コシヒカリの生育状況】

○草丈「やや短」、茎数「多」、葉数「並」、葉色「並」

○5月中旬植えほ場では、葉色が褪めてきています。

《生育データ（7月8日現在）※（ ）内は指標値比・差》

調査地点	育苗様式	田植日	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (葉)	葉色 (SPAD)	幼穂形成期
十日町（小黒沢） 標高 150m	稚苗	5/13	65 (97%)	510 (106%)	10.5 (-0.5)	32.9 (-3.1)	7/6 (平年差-3)
川西（上野） 標高 170m	稚苗	5/17	62 (93%)	601 (125%)	10.4 (-0.6)	36.4 (+0.4)	7/10 (平年差-2)
松之山（兎口） 標高 430m	中苗	5/26	58 (100%)	438 (110%)	10.7 (+0.3)	39.1 (+0.1)	-
津南（米原） 標高 450m	中苗	5/27	58 (94%)	555 (111%)	11.4 (+0.4)	42.0 (+4.0)	-

【気象予報】北陸地方の1か月予報（新潟地方気象台7月2日発表）

気温	降水量	日照時間
高い	ほぼ平年並	ほぼ平年並

【今後の管理】

1 中干し後の水管理

- ・出穂期1か月前には中干しを終了し、浅水の間断かん水で水に慣らしてから飽水管理に移りましょう。中干し直後の湛水（深水）は、酸素不足による根腐れや下葉の枯れ上がりにつながるので避けましょう。

2 穂肥施用

- ・今後高温が予想されていることから、出穂期は早生・中生品種を中心に、平年よりも早いと推測されます。ほ場ごとに幼穂を確認し、穂肥の施用時期を判断してください。
- ・コシヒカリの1回目穂肥（出穂期18日～15日前）は、右図を参考に草丈と葉色から施用時期と穂肥量を判断しましょう。

【施用できる生育のめやす】

草丈 80cm 以下、葉色（SPAD 値） 33 以下

- ・2回目穂肥（出穂期10日前）は、後期栄養確保のため確実に施用しましょう。

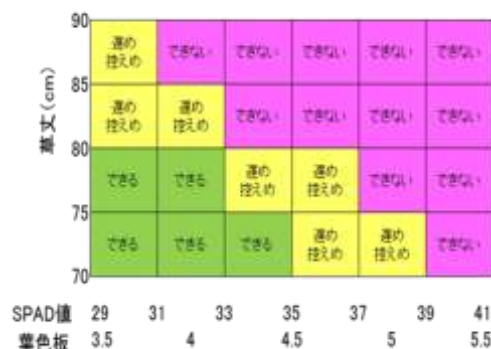


図 草丈と葉色による穂肥施用のめやす

表 出穂期予想※から見た穂肥施用時期のめやす（7月8日現在）

標高 (移植時期)	品種	出穂期予想	平年比	穂肥施用時期	
				1回目	2回目
5月中旬植 (100～200m)	五百万石	7月20日	やや早(-2)	6月30日	7月8日
	こがねもち	7月26日		7月8日	7月16日
	コシヒカリ	8月1日		7月14日	7月22日
5月下旬植 (300～500m)	コシヒカリ	8月7日	並(±0)	7月20日	7月28日
	にじのきらめき	8月10日		7月11日	7月27日
	新之助	8月11日		7月21日	7月30日

※ 農業普及指導センター生育調査ほのデータを用いて推測。

注) 有機質の割合が50%以上の肥料は1～2日早く施用。

前回(6/30)から変更しました

表 穂肥の施用時期と窒素成分量のめやす

品種	1回目			2回目	
	施用時期		窒素成分量 (kg/10a)	施用時期	窒素成分量 (kg/10a)
	出穂前日数	幼穂長		出穂前日数	
五百万石	20日	4mm	1.0～1.2	12日	0.8～1.0
こがねもち	18～15日	10mm	1.0～1.5	10日	1.0～1.5
コシヒカリ	18～15日	10mm	0.7～1.2	10日	1.0～2.0
にじのきらめき	30～25日	0～1mm	2.0～3.0	14日	1.0～2.0
新之助	21～18日	5～10mm	1.0～1.5	12～10日	1.0～1.5

3 病害虫対策

(1) 斑点米カメムシ類

- ・畦畔で斑点米カメムシ類が確認されており、今後、斑点米カメムシ類の増殖や水田侵入後の加害活動が活発になると予想されます。
- ・イネ科雑草（メヒシバ等）が繁茂している所は、出穂する前に草刈りを実施し、斑点米カメムシ類のすみかをなくしましょう。
- ・出穂期（ほ場内の5割が出穂した日）を基準に、薬剤の登録内容を確認の上、剤型に応じて散布時期を決定しましょう。

表 出穂期予想から見た薬剤散布時期のめやす（7月8日現在）

標高 (移植時期)	品種	出穂期予想	薬剤散布時期	
			粒剤	粉・液剤
5月中旬植 (100～200m)	五百万石	7月20日	7/20～7/27	7/23～7/27
	こがねもち	7月26日	7/26～8/2	7/29～8/2
	コシヒカリ	8月1日	8/1～8/8	8/4～8/8
5月下旬植 (300～500m)	コシヒカリ	8月7日	8/7～8/14	8/10～8/14
	にじのきらめき	8月10日	8/10～8/17	8/13～8/17
	新之助	8月11日	8/11～8/18	8/14～8/18

※薬剤の散布適期：粒 剤：出穂期～出穂期7日後

粉・液剤：出穂期3日後（穂揃い期）～出穂期7日後

(2) いもち病

- ・6月下旬～7月上旬に、いもち病に感染しやすい気象条件（高温多湿）の日が複数あり、管内でもいもち病と疑われる病斑が確認されています。
- ・こまめにほ場を確認し、葉いもちの早期発見、早期防除に努めましょう。

十日町農業普及指導センター（作物担当）

TEL 025-757-5516・6061

HP http://www.pref.niigata.lg.jp/tokamachi_nogyo/suito.html



←LINE 水稻情報は
こちらから

こまめな休憩と水分補給で
熱中症を予防しましょう！